

緊急事態宣言発令にともなう園運営に関するアンケート

結果報告書

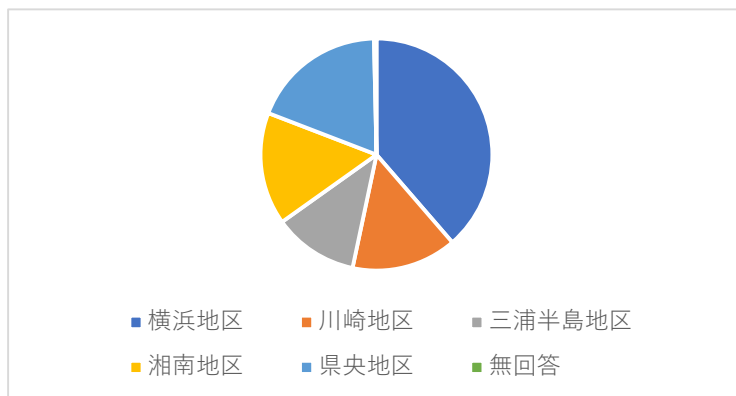
令和2年7月

公益社団法人 神奈川県私立幼稚園連合会

アンケート配布日：令和2年5月15日（金）
アンケート締切日：令和2年5月22日（金）
アンケート回答総数：加盟園583園中287園
（回答率 49.2%）

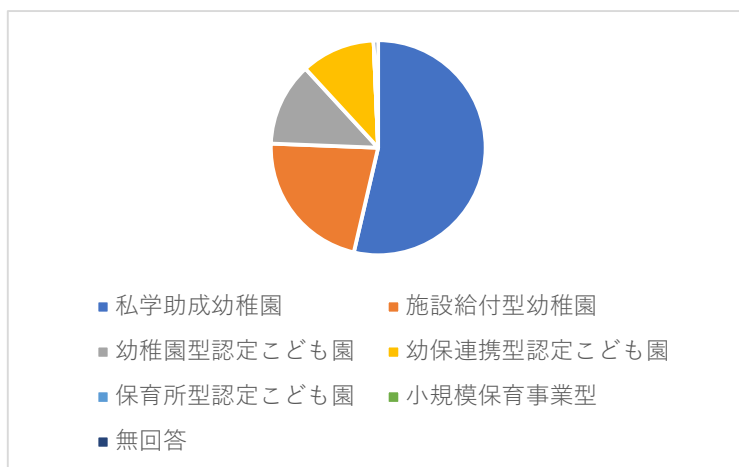
Q 1 : 貴園はどここの地区ですか？

横浜地区	111	38.7 %
川崎地区	42	14.6 %
三浦半島地区	34	11.8 %
湘南地区	45	15.7 %
県央地区	54	18.8 %
無回答	1	0.3 %



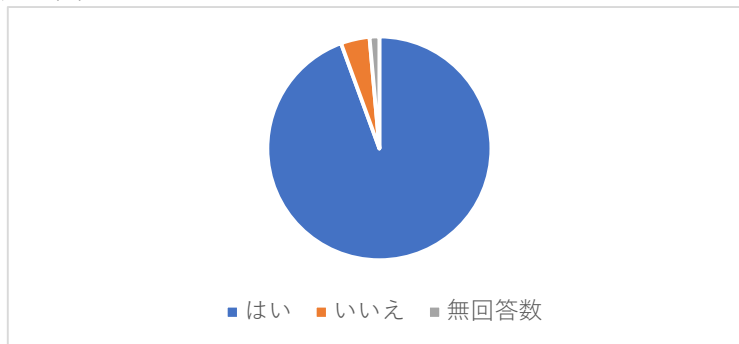
Q 2 : 貴園はどの形態ですか？

私学助成幼稚園	154	53.7 %
施設給付型幼稚園	63	22.0 %
幼稚園型認定こども園	36	12.5 %
幼保連携型認定こども園	32	11.1 %
保育所型認定こども園	0	0 %
小規模保育事業型	0	0 %
無回答	2	0.7 %

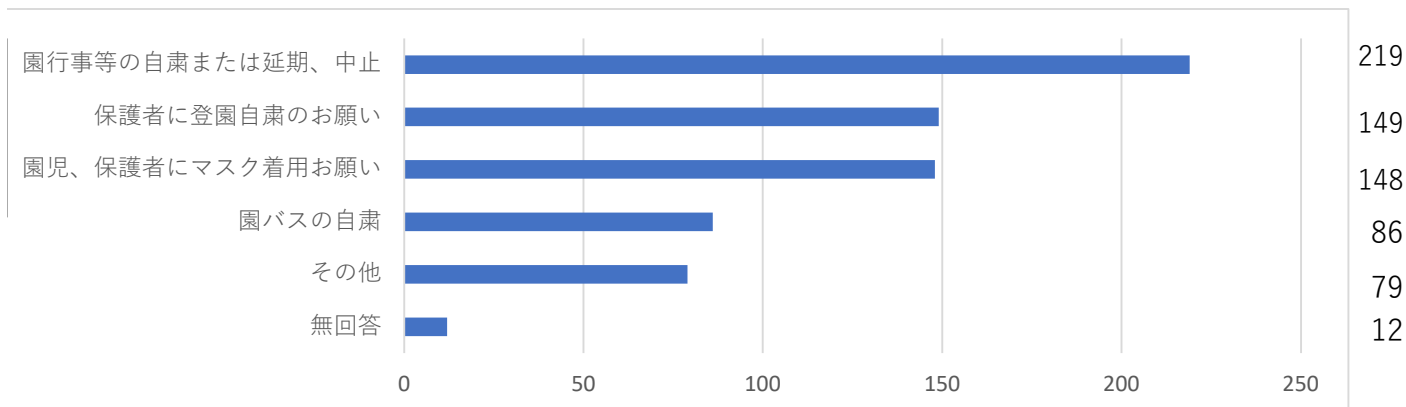


Q 3 : 「緊急事態宣言」が発令される前から、貴園ではコロナ対応をされていましたか？

はい	271	94.4 %
いいえ	12	4.2 %
無回答数	4	1.4 %

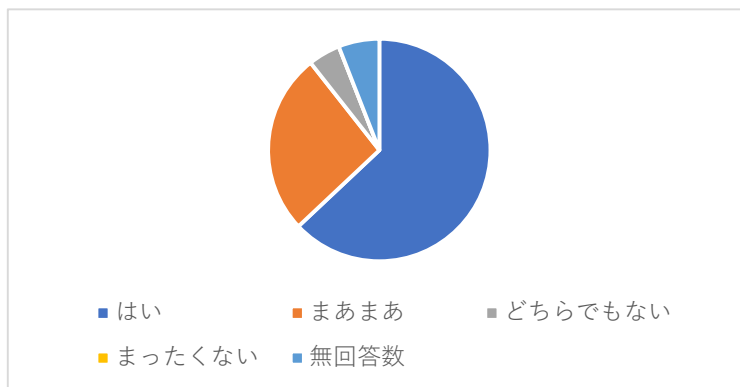


Q 4 : Q 3で「はい」とお答えの園では具体的にどのような対応でしたか？（複数回答可）



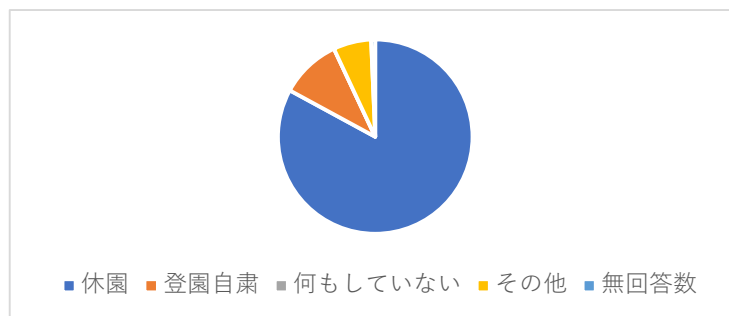
Q 5 : Q 4 で保護者に登園自粛や園バス運行自粛をお願いした園において、好意的または協力的な反応（受け止め方）でしたか？

はい	148	63.0 %
まあまあ	62	26.4 %
どちらでもない	11	4.7 %
まったくない	0	0 %
無回答数	14	6.0 %



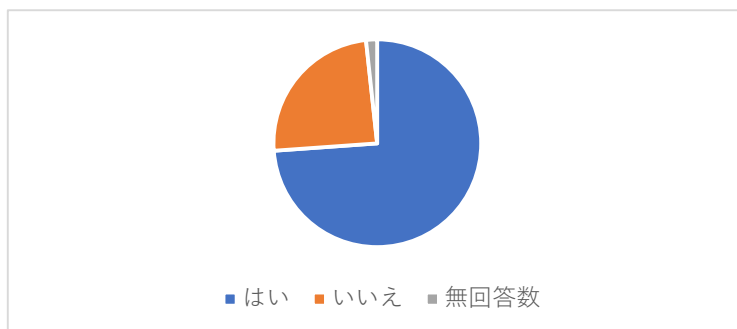
Q 6 : 「緊急事態宣言」が発令されてから、貴園でコロナ対応をされましたか？

休園	238	82.9 %
登園自粛	29	10.1 %
何もしていない	0	0 %
その他	18	6.3 %
無回答数	2	0.7 %



Q 7 : 貴園の地区の市町村行政から、施設向け・保護者向けの「登園自粛のおねがい」等の公的文書が発出されましたか？

はい	212	73.9 %
いいえ	70	24.4 %
無回答数	5	1.7 %



Q 8 : Q 7 で「はい」とお答えされた園にお尋ねします「登園自粛のおねがい」等の公的文書が発出されて、良かったと思いますか？

そう思う	202	96.7 %
思わない	7	3.3 %



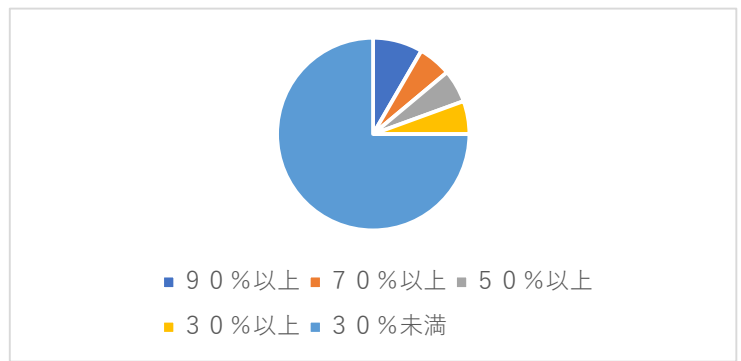
Q 9 : 公的文書が発出される前と後で、登園自粛をした園児の数に変化はありましたか？

あった	132	69.8 %
なかった	57	30.2 %

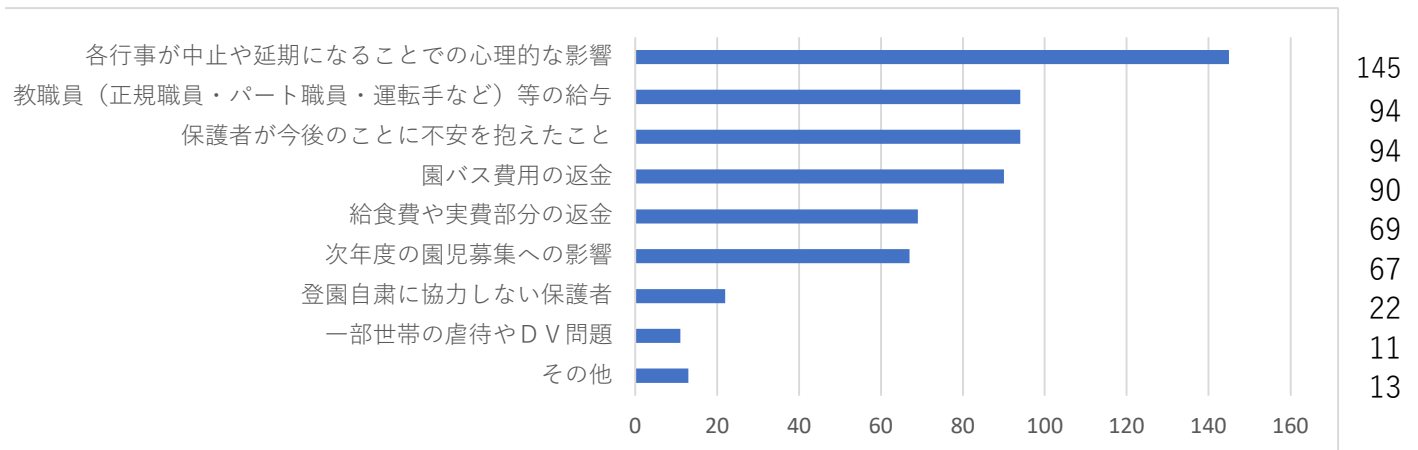


：公的文書が発出されてからの登園園児数はどのくらいですか？

90%以上	15	8.3%
70%以上	10	5.6%
50%以上	10	5.6%
30%以上	10	5.6%
30%未満	135	75.0%



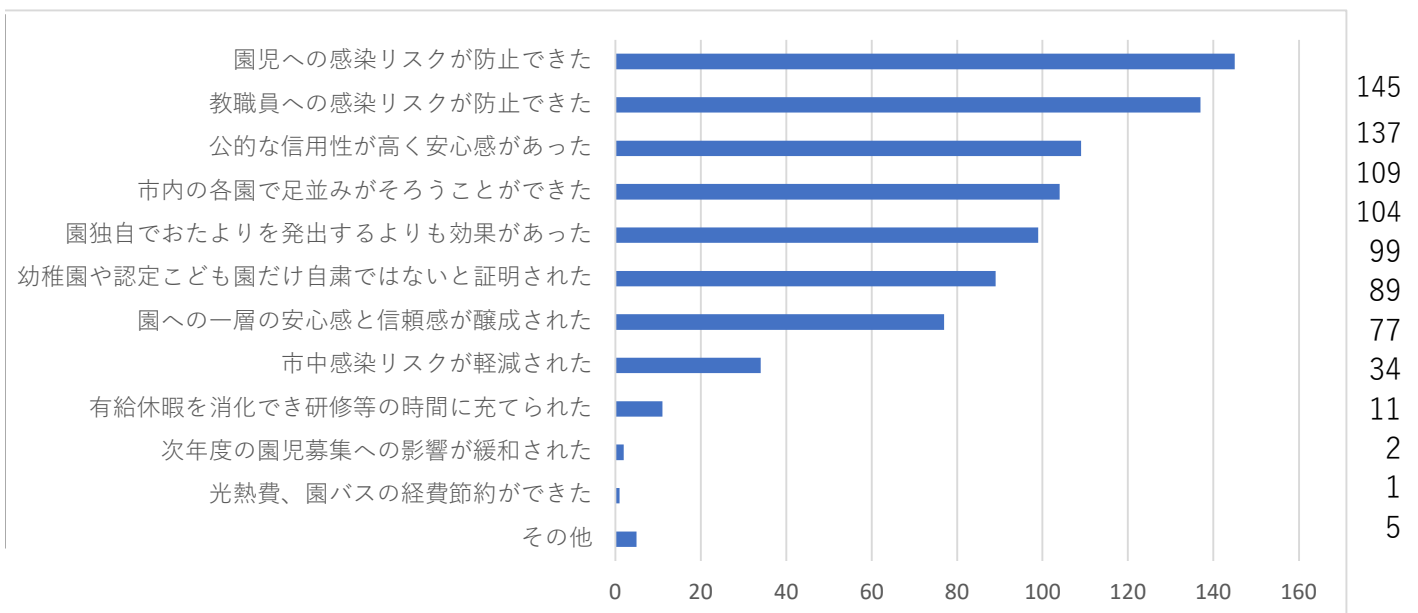
Q10：登園自粛の対応を行った結果、困った点は何ですか？（4つまで回答可）



Q11：給食費や実費部分等を返金しますか？

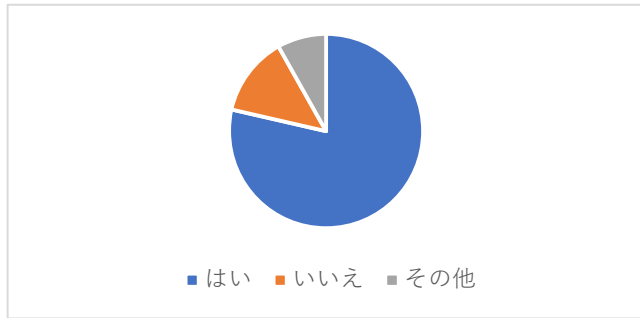
	返金する	返金しない
給食費	101	17
園バス費用	118	19
特定負担額	49	62
他の実費	35	53

Q12：公的文書が発出されたことで良かったと思う点はどんなことですか？（5つまで回答可）



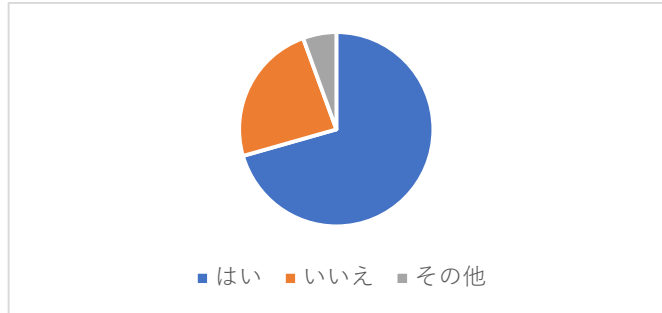
Q13：公的文書が発出されたことで保護者の意識が変わりましたか？

はい	154	78.6 %
いいえ	26	13.3 %
その他	16	8.2 %



Q14：公的文章が発出されたことで貴園（園長先生）の意識が変わりましたか？

はい	139	70.6 %
いいえ	47	23.9 %
その他	11	5.6 %



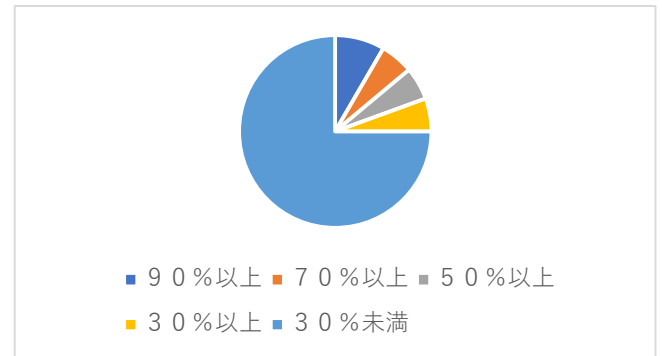
Q15：Q7で「いいえ」とお答えされた園にお尋ねします
「緊急事態宣言」が出た後登園自粛をする子どもはいましたか

はい	54	85.7 %
いいえ	9	14.3 %

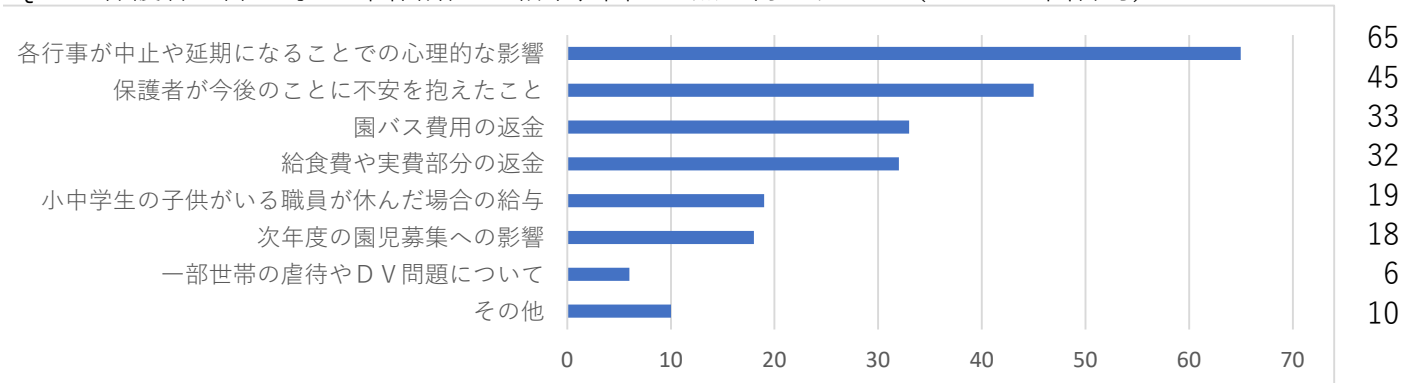


：公的文書が発出されてからの登園園児数はどのくらいですか？

90%以上	15	8.3 %
70%以上	10	5.6 %
50%以上	10	5.6 %
30%以上	10	5.6 %
30%未満	135	75.0 %



Q16：保護者が自主的に登園自粛した結果、困った点は何ですか？（4つまで回答可）

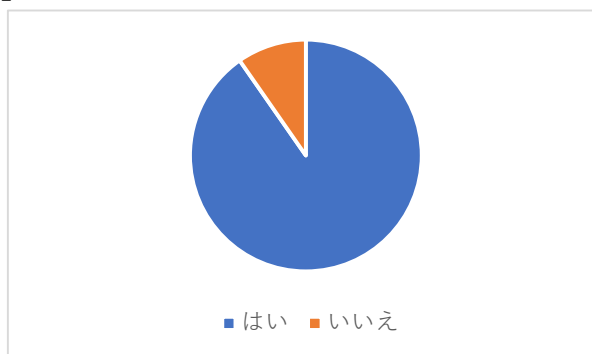


Q17：保護者が自主的に当園自粛した場合、給食費や実費部分等を返金しますか？

	返金する	返金しない
給食費	55	13
園バス費用	51	24
特定負担額	24	46
他の実費	19	35

Q18：市町村行政から「登園自粛のおねがい」等の公的文書が発出してほしいと思いますか？

はい	121	90.3 %
いいえ	13	9.7 %



Q19：園からの手紙で「当園自粛のおねがい」等の文章を発出しましたか？

はい	109	82.0 %
いいえ	24	18.0 %



Q20：「緊急事態宣言」発令後、保護者の意識が変わったと感じますか？

はい	119	90.8 %
いいえ	12	9.2 %



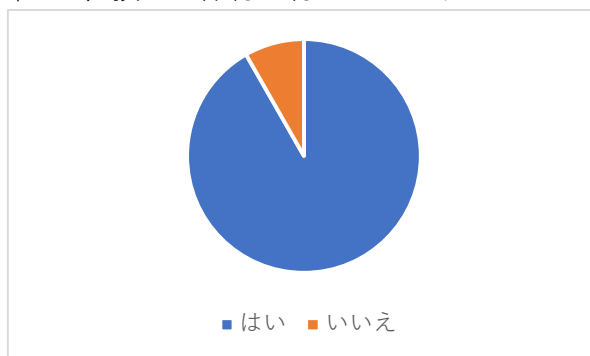
Q21：「緊急事態宣言」発令後、貴園（園長先生）の意識が変わったと感じますか？

はい	108	78.8 %
いいえ	29	21.2 %



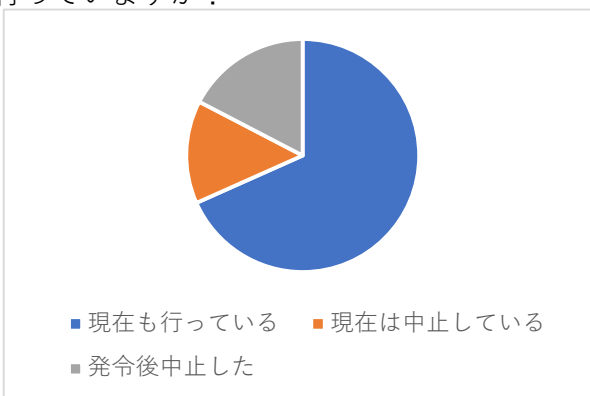
Q22：預かり保育についてお尋ねします。貴園では、預かり保育を行っていますか？

はい	255	91.7 %
いいえ	23	8.3 %

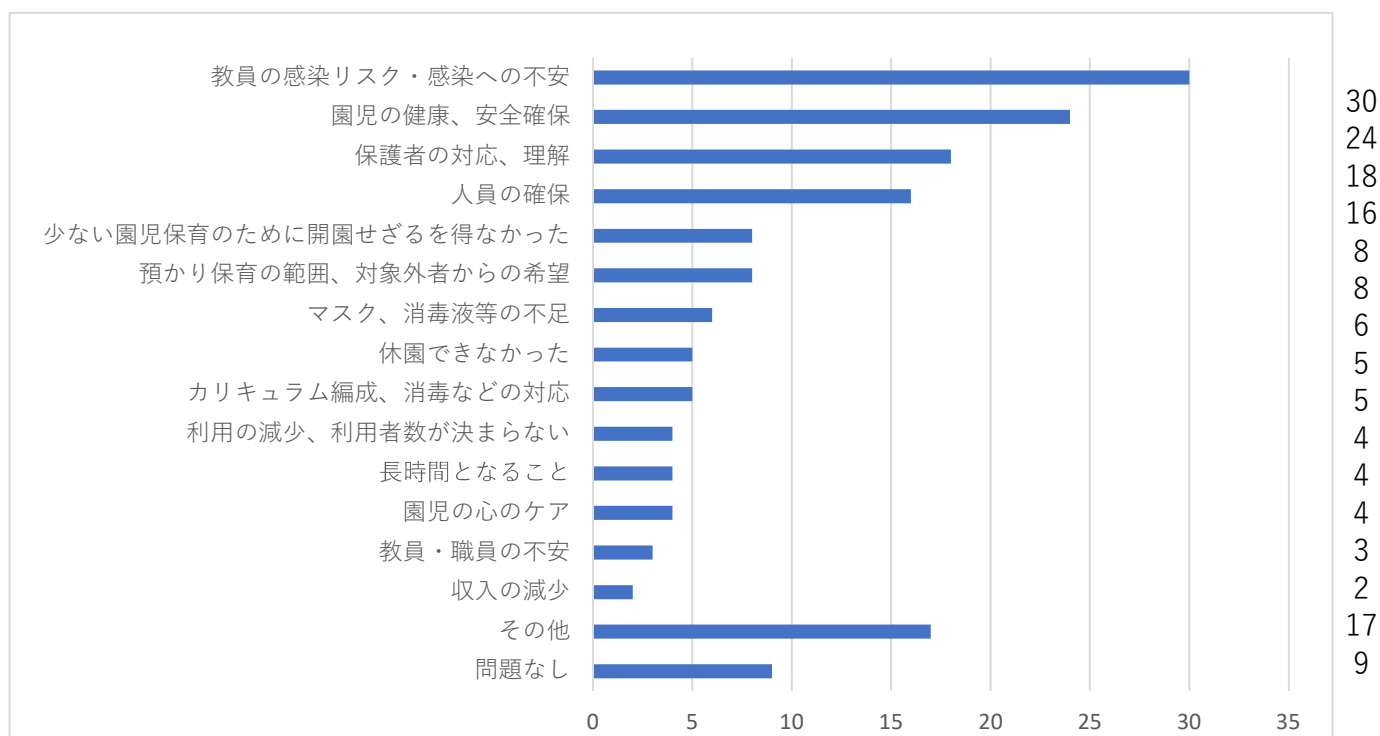


Q23：緊急事態宣言発令後も、預かり保育を行っていますか？

現在も行っている	177	68.3 %
現在は中止している	37	14.3 %
発令後中止した	45	17.4 %



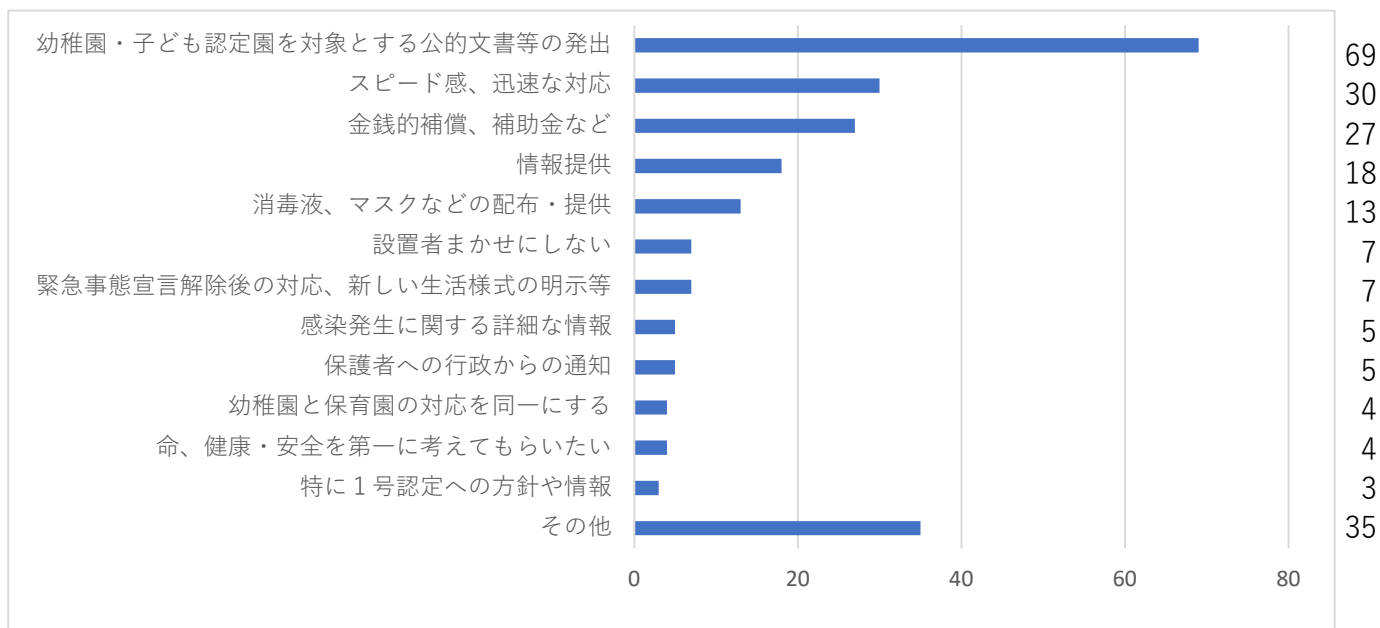
Q24 預かり保育の継続にあたって、困った点は何ですか？



(ご意見) ※163件より抜粋

(預かり保育を) 行っているが、親の職場も自粛により仕事がなくなり、預かり保育なしになり担当職員の仕事がなくなったこと。
感染防止をすべて園費と園判断で行ったこと。手探りで大変だった。補助金は使いづらい。
就労保護者の子どものみということでご協力が得られたが、そのほか預かってほしいが声を上げづらい方がいたのではと不安がある。また、預けられた方と預けられなかった保護者間での感情のもつれが出ないかと心配がある。
幼児は接触を避けるなど感染リスクを拭えない状況の中で預かり保育を継続しなければならないことに現場の教職員は不安を感じていました。もちろん、福祉の観点から保育を必要とする方への提供の必要性は理解していますが、首都圏や県下でも管轄行政により対応が異なることは大きな混乱の要因であると感じました。
職員のシフトです。本人の考えや家族の反対などで、働けない人もいます。今はできる人が頑張ってくれている状態で不公平感が出ています。
園で実行できる感染予防対策には限りがあり、子どもや保育者の安全を守れるレベルではないと考える。マスク、手洗い、アルコール消毒、換気程度の対策で大丈夫なのか。
園児を密にしないという活動は現実的に不可能なので、遊びや食事、生活するうえでどのようにするか不安だった。
登園日の把握と登園児数によって変わる保育士の配置。当日に人数が減り、保育士が余ることが多かった。急な人数変更で給食のロスが多くなってしまった。
保護者の意識にかなり幅があり、対応に困った(求められるものが両極端)
在宅ワークや自営業等、家庭保育が可能な保護者が預かり保育を利用する。
預かり対象の家庭をどのように判断するか。
預かりが減って(自粛による)いても、経費(特に人件費)がかかっており、経営的に心配である。
小学校等が休校しているので、同じ地域で、働く保護者の支援ということで実施していたが、感染予防の観点からは、本来ならば休園とするべきであった。

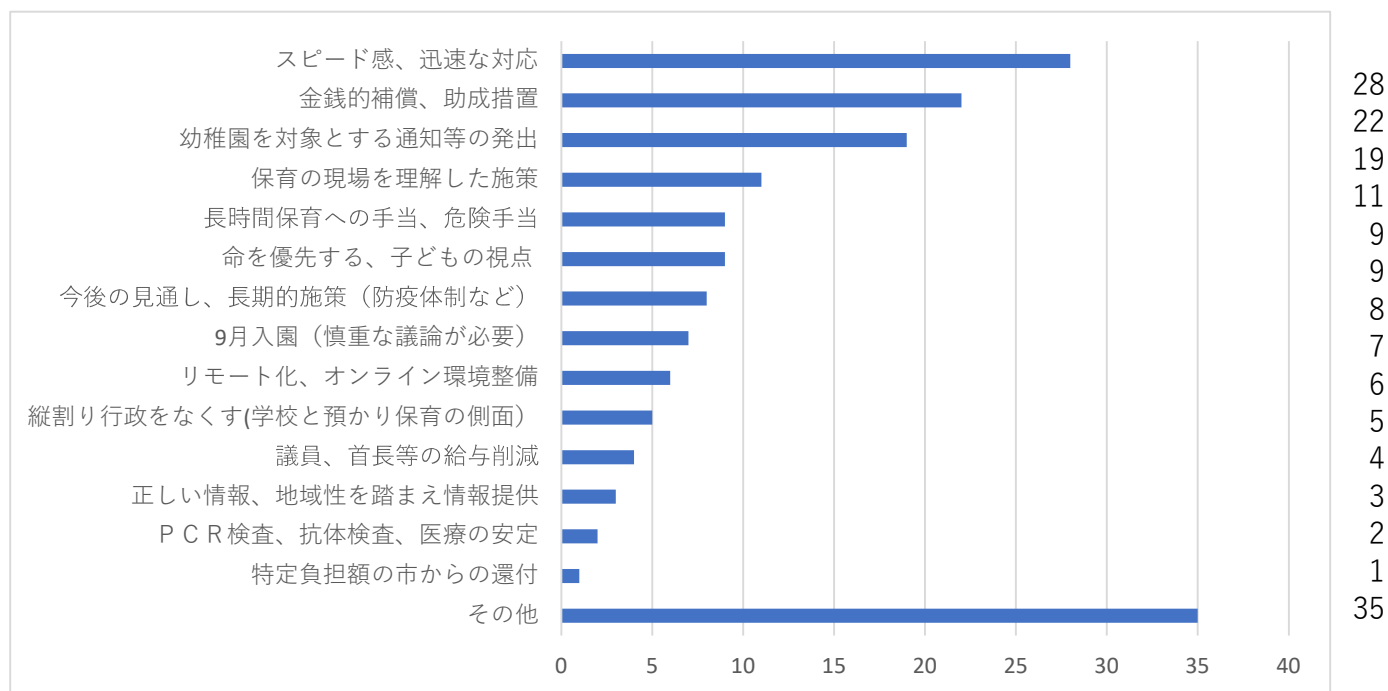
Q25 今後のコロナ対応で、県・市町村行政に臨むことは何ですか？



(ご意見) ※227件より抜粋

幼稚園向けにきちんとした行政文書を出して欲しい。保護者向けの文書も別紙にて。
現場の判断に任せず、行政としての指示、指針を早めにほしい。決定や対応が遅い。
幼稚園としてどのように対応すべきか具体的に対処方針などを発出していただきたい。 園バスは運行してよいのか、お弁当を食べることは当分の間控えたほうがいいのか、保育をする中で3密を避けることをどの程度徹底すべきなのか、など。
市には保育園、小中学校同様に情報の提供をして欲しい。 県には柔軟に使える補助金の設定をして欲しい。
幼稚園(1号認定)に対し、公の対応策が県・市とも無い。
預かり保育も実施している幼稚園に、県や市からの対応策が欲しい。
園独自で自由登園、休園の判断をするのは、とても難しい。行政の迅速な判断で足並みをそろえて欲しい。
職員(パート)の休業手当補助金。
預かり保育の減少やバス代返金など減収に対する補助金。
感染者が出た場合の除染費用。重症者や死者が出た場合の保障や見舞金。
50万円の対策予算を設定してもらったが、申請が間に合わず受理されなかった。期日が短かったので再申請を受け付けて欲しい。
園が所在している地域の感染の状況についての情報を園に適宜知らせて欲しい。
保育所と幼稚園の格差があり、市は保育所を中心に動いており、同一歩調でやってほしい。
国の発令後、県・市町村は速やかに指針を発表していただきたい。また市町村によって時差がないようにしていただくとありがたいです。
こども、職員の命を守ること。
幼稚園は3密そのものであると思います。その中で預かりをしなくてはいけない危機感、使命感など、様々な葛藤の中で職員の先生方は働いてくれています。
医療従事者や生活を支えてくれている業種をピックアップして感謝するのは当たり前ですが、幼稚園・認定こども園・保育園がなければ、それらも部分的に成立しないことを社会全体として訴えて欲しい。そして、保育者の命を守るための取り組み、危険に対する補助金の追加は当然必要。極端な比較かもしれませんが、命をかけて医療にあたってくれている医者と、命をかけてその人たちの子どもを預かっている保育者の給与を比べてみたら現実を知るのではないのでしょうか。お役者仕事では、子どもも保育者も守れません。
もしも、子どもや保育士が感染した場合、誰が責任をとるのか。

Q26 コロナ対応について、議員（国会・県議会・市議会）へ臨むことはありますか？



（ご意見） ※169件より抜粋

園と保護者との信頼関係が損なわれないように何事も明確かつ早めに基本方針を出して欲しい。

休園措置であったり自粛登園措置であったり、各園の判断に任せられています。園長の責任の重さは大変なものである。公立学校等のように市町村での統一された判断をとるべきだと思う。地域差も考慮しなければならないが。

客観性のある数値や知見に基づいた対応や見通しを明らかにし、情報提供していただきたい

3密を幼稚園で回避することは不可能。しかし、預かりは行ってほしいなど、無理も多く、職員・園児共に危険を抱えながら生活している。それに対する配慮がないことが非常に残念。また9月スタートを安易に提案しないで欲しい。

保育現場の苦悩を理解していただきたい。

今回のコロナ対応において文科省と厚労省による縦割り2重行政の弊害を改めて感じました。同じように2号認定の保育を必要とする子を受け入れているにも関わらず、保育所や認定こども園に対しては補助や衛生用品の支給があるのに、文科省管轄の幼稚園は該当しない。また行政からの連絡は新制度移行園にはメールですぐに通知されるのに従来型の私学助成園には、数日後になってFAXで遅れて届くなど、施設類型や管轄による差が大きくありました。同様の事業を提供するにもかかわらず取り扱いが異なるのは課題として今後の改善を図っていただければと思います。

運営維持費の補助をお願いしたい。休園していても確実に経費がでていく。

コロナ禍で幼稚園保育園を開けるのであれば幼稚園教諭・保育士をエッセンシャルワーカーと認め、何らかの危険手当を支給するよう制度化していただきたい。危険と向き合っている現場の実態をぜひ見て頂きたい。保育者へのリップサービスの意味で「幼稚園保育園も開けます」と安易に言わないでいただきたい。

保育利用者の園児数に合わせて、職員へコロナ対応手当を用意してほしい。

各省庁が別個の給付金制度を設けるのではなく、源泉徴収や住民税を一時的に減額するとか、一斉に国民全体がコロナ対策に集中できる環境を整えられるような政策を提言して欲しいと思う。

市内の園ではオンライン授業を実施している園があるようで、オンラインが実施できる園とそうでない園が出てきてしまい、保育内容の質に差が出てしまう。オンライン設備を全国の幼稚園にも整えられる政策を出してもらいたい。

Q27 コロナ関連全般について、貴園（園長先生）のお考えをお書きください

（ご意見） ※191件より抜粋。

全日本私立幼稚園連合会や神奈川県私立幼稚園連合会としての対応策が欲しかった。
大人にとっても子どもにとっても不安な日々の連続でした。子どもたちが安心して、そして安定した気持ちで過ごせるよう、休園中も、そして現場が再開後も楽しく過ごせるようにと、ただそれだけで過ぎましたし、今後も前向きに取り組めます。
子どもの命と生活を守るべく「何事も子どもにとって」を中心に考えていきたい。
「登園自粛」要請は、不徹底。でもロックダウンは個人の権利侵害にもなるので、これらを経験に災害時に開園する園を地域に1園～2園を指定しておき、施設にも職員にも相応の待遇をしておく。
ウイルスとの長き闘いになりそうなので、慌てずに対応していきたい。幼稚園において基本的な感染予防対策は行えるが、常に密を避けたり、ソーシャルディスタンスを保つのは困難なことから、その工夫に苦慮している。子どもたちが安心して遊べる環境をしっかりと整えたいと思っている。
幼稚園は幼稚園として扱って頂きたいです。保育所ではありません。ただ、社会の流れとして幼稚園に求められていることがあるならば向き合いたいです。その中で、子どもを受け入れる園（預かり保育）の職員の保障はしてほしいと思います。
命を守ることが第1ではあるが、3月から5月の大事な期間に休園となり、それをどう回復していったらいいか。これからの行事もこの4・5月があつてのことなので、どれだけ簡素化していくか、原点に戻って考えていきたい。
それぞれの人間性が問われる時間ですね。歴史に残るこの出来事をどう受け止め、どう対応していくのか立場が違えば大変さも違う。それをすべて理解するのは難しいと思います。自分の立場だけの事で何かを言うことはできませんが、この時代にいた3、4、5歳の子どもたちが、大人になって振り返れる時、人間の強さを伝えられたらと思っています。
出来る限り密にならないように工夫をしながら一日も早く平常保育が出来るように取り組みたいです。そのためにも県と市と連絡がきちんと取りあえると安心できるのでお願いしたい。
子ども達、保護者、教職員の健康安全を第一に、同時に幼稚園の果たすべき教育と保育の質を保障することの難しさを痛感しています。また、保護者の生活面、就労面の変化が幼稚園に求める内容に変化をもたらすと考えています。今回の事態は園の在り方、運営の仕方の見直しも求めるものになっています。
新しい生活様式に則った新しい保育形態を考えていかないといけないため、幼稚園再開に向けて手探り状態です。
全ての人をはじめの事態でコロナウィルスの怖さを知った。感染経路の不明なことが解除後の園開園をどうしていったら良いのか不安もあるが、家庭との連絡(情報)をしっかりとり、園内での「3密」をはじめ、アルコール消毒等の徹底、家庭での継続を行っていく。子ども、教職員とそれぞれの家族の命の安全、安心を第一に考えていく。園では段階をふまえて進め、油断をしないように守っていかなければと思う。
今後、どのような対応をするべきか、園児・教職員の安全と健康・園の運営・双方において先が見えず、不安があります。
幼稚園でこの先、長い間、”密”を避けて保育(教育)を進めていくことが、果たして出来るのか、(勿論、工夫を色々しては行くが・・・)勉強をオンラインで教えることと違い、子ども達と常に触れ合い、心を通わせていくことを大切にする幼稚園には、大変厳しい状況です。保護者に子ども達の成長を伝える場の、様々な行動や機会は、どうしても密になり、制限しなければならないことに苦慮しております。この先の運営にも色々支障が出ることへの不安もあります。
乳幼児に3密を避けた教員・保育は不可能だと知ってもらいたい。
コロナ禍を子どもたちへの保育にプラスになるよう取り組んでください。